

たい方はとの問い掛けに対し全員が挙手して、その熱い眼差しに、当方もやる気満々となりました。

中伝十本中、五本目まで行なった時に、本日十五時より成果発表を武徳殿で行なうとの連絡があり、やむなく中断して十四時～十五時までA・Bグループ合同で発表会の演武練習を行なう。初心者グループをかんがみ、初伝から五本を選び、リーダーを中心に五回実施する。特筆は、リーダーの居合道演武の間合いは三呼吸で行なうべく全員に指示を出されていた事に、その心得に対し嬉しく思いました。

十五時、武道センターから武徳殿に移動、最初に夢想神伝流居合道、二番目に柳流柔術、三番目に智心流空手道・古武道の順番で行なう事となり、二日間の修練の成果がいかように表われるか、尚、濱田先生から評価点を付けて下さいとの事でもあり、緊張の時間帯でありました。

さて、演武開始、A・B全員二十三名リーダーを中心に一糸乱れぬ礼法・演武、五本を堂々と演武し、最後の礼をした瞬間、私は熱い拍手を送っております。そしていよいよ評価点“と”その時濱田先生より八十点ですかとの言葉があり“え”すべてに厳しい着眼点をお持ちの濱田先生より八十点の高評価。私はとつさに八十五点とお答えした所、目黒先生は甘いですねーとニッコリされたお顔に、また高田先生からもリッパでしたとの言葉もいただき、二日間の疲れもすべて癒され、胸が熱くなりました。

成果発表もすべて終了して、国際部全員の拍手で送られ、着替えのため武道センターに移動して身支度を整え、刀の手入れ等で若干の時間が掛り、センターの玄関に出た所、濱田先生が待っておられ、御苦労様でした、お帰りは良い旅でありますようにとの温かいお言葉で送っていただき、今回このすばらしい体験の機会を与えていただいた

厳しくも優しさあふれる濱田鉄心先生に大いなる感謝の気持ちで御礼申し上げ、一般社団法人大日本武徳会並びに国際部の益々の発展を祈念いたして、すがすがしい気持ちで帰路につかせていただきました。

一期重会の国際部武道講習会に

神伝円心流 森内 一藏

国際部武道講習会が六月二十一日から二十八日まで、各主要古武流派によって行われ、二十六日が当流派の担当日でありました。

当日は、武徳殿において、開会挨拶の後、武道センターに会場を移し講習を予定通り始めました。受講者は、イタリア・フランス・ベルギー・ドイツ・アメリカ・ロシアと国情も言葉も文化も違う人達が技を磨き、武道を通して人間形成という目的に向かう意気込みを感じながら、講習内容の説明から、作法・基本刀法と指導を進めて行くうちに、緊張した雰囲気も解け、連日の暑さにも関わらず、疲れも忘れ熱心に指導を受ける姿は真の修行者を見た思いでした。

受講者は各自の流派の技はもとより、毎日、異なる流派の技を学び、難しい技の習得は困難であろうと思っておりましたが、新しい技を無難に会得したのには感心を致しました。講習の最後に全員で刀礼から刀法を含め形を行ない、その出来栄は見事なものでありました。

また、講習会後、武徳殿において、受講成果を発表する演武を見て、